

さくら



令和7年12月1日(月)

師 走



本日より12月、別名は師走(しわす)です。師走の「師」は僧侶のこと。昔は、12月になると僧侶(師)が各家庭を訪問し、お経を唱えて家族の罪を消し、新しいお札を配ることが一般的な行事として行われていました。そのため、僧侶は12月になるととても忙しく走り回っていました。そのことから「師走」という言葉が生まれました。。

余談になりますが12月の別名は「極月」(ごくげつ:1年の最後の月だから)、「限りの月」(かぎりのつき:年の境目や節目の月だから)などもあります。また、春待月(はるまちつき:春を待ちわびる月だから)という素敵な呼び方もあります。

ところで、人は失敗する生き物です。きつい言い方かもしれませんが、人は罪つくりなことをしてしまうことがあるのです。皆さんも、この1年間を振り返ると、さまざまな失敗をしているのではないのでしょうか。私自身にも、多くの失敗があったと自覚しています。

ちなみに仏教では、「十悪(じゅうあく)」という悪い行いが規定されています。具体的には、「生き物を殺すこと」、「盗みをはたらくこと」、「嘘をつくこと」、「悪口を言うこと」などです。また「怒りや憎しみ」、「愚痴」も悪い行いであるとされています。

このことをもとに1年間を振り返ってみると、重大な罪を犯してないにしても、嘘をついたり、怒ったり、愚痴や悪口を言ったりしたことはあったかもしれません。また、知らず知らずのうちに誰か(の心)を傷つけてしまったこともあるかもしれません。

この師走、一年の行いを振り返り、反省すべきことがあれば、考えと行動を改めることが大切です。そうすることで、新たな年をすがすがしく迎えることができるのです。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

